



こんにちは 日本共産党

清水とし子です

発行・日本共産党日野市議会議員 清水とし子

日野市多摩平4-1-1（清水事務所）

メール jcpsimi@jcom.zaq.ne.jp

Facebook「清水登志子」で検索

携帯 090-6102-7555、事務所 042-582-1042

新可燃ごみ処理施設「周辺環境整備費」を

南平体育館の建て替えに使う！？

日野市は、南平体育館の建て替えに、新可燃ごみ焼却施設周辺地域の生活環境の保全などのために、小金井市・国分寺市もらっている「周辺環境整備費」の中から約18億も使おうとしていることが明らかになりました。

周辺環境整備費は、可燃ごみ広域化によって、大きな負担をかける周辺の住民のために使ういわば「迷惑料」です。

平成27年に日野市、小金井市、国分寺市でかわされた覚書には、「新可燃ごみ処理施設に係る周辺地域の生活環境の保全及び増進を目的として」「周辺環境整備費」を小

金井市、国分寺市がそれぞれ35億円、総額70億円を限度として負担することが明記されています。

さらに、「周辺環境整備事業の具体的内容は、当該地域の住民の意向を踏まえ」日野市が決定するものと定めています。



用途について地元の協議すら行われていない



実は、周辺環境整備費をどのように使うのかといった周辺住民の協議は、まだ行われていません。それは、可燃ごみの広域化について、地元5自治会すべてが合意しているわけではないため、地元5自治会がそろって協議する場が作れないからです。

そのような中で、市が「周辺環境整備費の対象範囲は半径3キロ内とされている。南平体育館はその範囲内」と、18億円（周辺環境整備費総額70億円の4割近く）も使うということに、周辺住民をはじめとする市民の理解が得られるでしょうか。

南平体育館建て替えに警鐘ならしてきた党市議団

南平体育館は、最初は耐震補強工事をする予定でした。当時の試算では数億円を見込んでいました。

その後、特殊構造のため一般的な耐震基準が適用できないことが判明、建て替えに方針を変更し、建設費は約34億円とされました。

この時、党市議団は、耐震診断の方法がないかあらゆる方法を検討し、耐震補強工事をするよう求めました。

その後、基本設計では総事業費は約36億円にふくらみます（右表参照）。

党市議団は、解体費用も約2倍に跳ね上がっており、このまま建設に乗り出せば、工事費約36億円も、さらに膨らむ可能性があり、市民のくらしにしわ寄せを及ぼしかねないと、慎重な判断を求めました。

こうした指摘を無視して計画を進め、いまになって「財政が厳しい」「借金は返済の負担が出る」ので、「周辺環境整備費を使って、後年度負担を軽くした」など、許されません。

日野市は直ちに周辺環境整備費の投入をやめるべきです。

南平体育館の資金計画

国費	約2億
都費	2千万円
スポーツ振興くじ	2千万円
市の基金	6億円
地方債（借金）	約25億
一般財源	約2億4千万
合計	約36億円

ちなみに、市民の森ふれあいホールは

総事業費22億円

国費 約7.7億円

都費 約4.3億円

市費 約10億円

くらしがどうしても成り立たないときは 生活保護の利用を

生活保護は日本国憲法にもとづいて、生活に困っているすべての国民に対して、その最低限度の生活を保障し、自立を助長することを目的とする制度です。

持ち家があっても、給与や年金などの収入があっても、受けることができます。

申請の仕方や収入の基準など、わからないことや不安なこと、

お気軽にご相談ください。市議 清水とし子 電話 090-6102-7555

そっくり！

ある方からいただいた色紙

みんな口をそろえて「そっくり～！」

よく見ると、絵ではなく切り絵なのです

髪の毛の感じも細かい切り込みで

表現されています

ありがとうございました

